

1年間で2kgフィッシュを  
3本ウエイインした男

# BMC

TOURNAMENT TEAM BIG MOUTH CLUB

## Concept Book 2024

スーパーコ・アングラ  
並木勇人

Angler of the Year



### contents

#### 2024 レギュレーション

2023 シーズンの熱戦をレポート

#### BMC 2023 Chronicles

レギュラー戦

コ・アングラ戦

BMC クラシック 2022

BMC クラシック 2023

ウインターオープン

#### Basser Allstar Classic 参戦記

#### Tour Schedule

#### レギュラー戦 2023

4月21日/6月16日/7月13-14日/8月25日/9月21-22日

#### コ・アングラ戦

3月31日/6月2日/11月24日

#### BMC Open Tournament 2023

9月1日

#### ウインターオープン

2025年1月19日





# BMCプロトーナメントとは。

1994年。

ある釣具店に集まるアングラーが中心となり、BMCが立ち上がりました。

それは週末を湖で過ごし、ただバスフィッシングを楽しむだけではなく、

釣果を「競う」という要素を含んでいました。

それが、BMCの原点です。

当時から大切にしてきたのは、3つの「わ」です。

「和」→協調と調和

「輪」→繋がりと協働

「ONE」→個性と統一感。

好きなことをして存分に遊びたい。

だからこそ、ルールを守ることと協調性を大切にしてきました。

その思いは今も変わりません。

だから今も、入会は紹介制をとっているのです。

メンバー間では、3つの約束を設けています。

一、お互いを信頼し、協調性と思いやりの心を持ち、和を乱さないこと。

二、幹事、運営スタッフの指示に従うこと。

三、年齢の上下や、登録形式に関係なく、自ら率先して運営に携わること。

この約束はメンバー同士のつながりを強固にし、

ひいては「本気で遊ぶ最高の環境」につながります。

コンプライアンスを遵守し、仲間を大切にしながら、

BMCプロトーナメントと一緒に盛り上げていきましょう。

BMC代表 千葉恒太



うちのパパは、つりがすきだけど、さかながつかれません。

なぜかと言うと、へただからです。

つりのしあいで<sup>いち</sup>いいはとったことがないけれど、

<sup>に</sup>いいはとったことがあります。

でも、それはただのつりぐをもらっただけです。

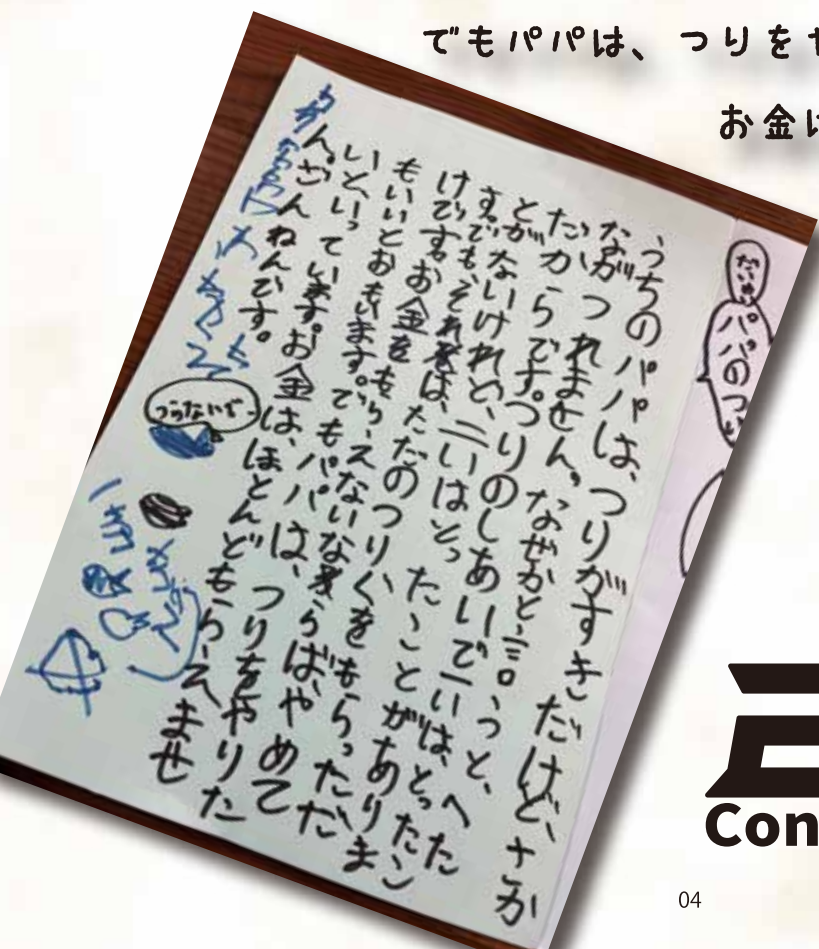
お金をもらえないならば、やめてもいいとおもいます。

# それでもオレたちは 釣りに行く。

でもパパは、つりをやりたいといっています。

お金はほとんどもらえません。

ごんねんです。



# BMC

Concept Book 2024



# CONTENTS

- 03 BMCとは。
- 04 それでもオレたちは釣りに行く。
- 06 BMC Tournament
  - 基本ルールとスケジュール
- 07 参加のルール・登録料・エントリーフィー
- 08 メンバー登録・競技中の注意事項
- 09 トーナメントルール
- 10 組み合わせについて
- 11 2024 シーズン・スケジュール
- 12 トーナメントエリア
- 13 航行に関する注意事項
- 14 受付・ミーティング・スタート・帰着
- 15 ウエイイン・表彰式
- 16 レギュラー戦の表彰・年間表彰
- 17 ペナルティ一覧
- 18 会場利用上の注意
  - 霞ヶ浦トーナメントプレイス in 美浦大山スロープ
- 20 禁止エリア・走行規定
  - 小野川／洲の野原
- 21 常陸利根川・与田浦／北浦
- 22 黒部川／利根川
- 23 BMC 2023 Chronicle
- 24 2023 Regular Tournament 1st
  - 優勝：矢口悟司・並木勇人ペア
- 25 2023 Regular Tournament 2nd
  - 優勝：郡司 潤・神山 樹ペア
- 26 2023 Regular Tournament 3rd
  - 優勝：伊藤康晴・矢野綾大ペア
- 27 2023 Regular Tournament 4th
  - 優勝：神谷勇紀・篠 孝太郎ペア
- 28 2023 Regular Tournament 5t
  - 優勝：郡司 潤・木村翔太ペア
- 29 BMC ウィンターオープン 2023
- 30 コ・アングラ戦 1st & 2nd
- 31 清水 綾の挑戦。
- 32 BMC クラシック 2023
- 34 BMC クラシック 2024
- 36 Basser Allstar Classic
- 38 Special Thanks



# BMC Tournament

## 基本ルールとスケジュール





## 参加のルール・登録料・エントリーフィー

### BMCへの参加ルール

- ・BMCへの入会は既メンバーの紹介や推薦を受け、幹部会で協議のうえ決定する。
- ・既メンバーからの紹介などが無い場合は、一年間の体験入会を通して正会員になることもできる。この場合、体験入会期間を通してバスフィッシングへの熱意、および既メンバーとの交流に対する姿勢などを見て、「BMCメンバーにふさわしい」と判断された後、BMC幹部の面接を経て正会員となる。

- ・ボーターとして参加する場合、安全面の観点から使用するボートは18フィート以上・175hps以上とする。
- ・BMCメンバーは和を重んじ、協調性をもち、法令等を遵守する。また魚はもちろん自然も大切にす。

※メンバーは大会中の係、および運営に率先して参加し、協力すること。運営状況(ランチングや誘導など、人員が不足している箇所)については本部スタッフに確認する。

- ・SNSなどへの投稿は細心の注意をはらい、個人の責任において行うこと。

※メンバーの肖像について、自由に使えるものとする。ただし取り扱いには細心の注意を払うこと。また、同意しない場合はクラブに申し出ること。

- ・メンバーはBMCのウェブサイトにてトーナメントや釣行時のレポートを提出し、情報の発信に努める。また各試合において上位入賞(上位5位まで)の選手(ボーター、コ・アングラ―は不問)は試合終了後1週間以内に、写真を添えてレポートを提出すること。提出したレポートは編集のうえ、note BMC トーナメントレポートにて発信する。上位入賞者以外の投稿も随時受け付けている。

※これらのルールを遵守できない場合は警告、または退会を勧告することがある。

### BMCメンバー年間登録

- ・BMCレギュラー戦に参加する場合、以下の年会費および参加費を必要とする。

ボーター登録 25,000円

コ・アングラ―登録 15,000円

- ・シーズン途中から正会員となった場合、出場する試合数分を年会費とする(1試合あたり、ボーター5,000円、コ・アングラ―3,000円)。

※感染症拡大や、台風など自然の要因による中止を余儀なくされた場合でも、年間登録費の返金は行わない(ただし全戦中止の場合は、この限りではない)。

- ※ゲスト参戦は年会費は不要。ゲスト参戦者は全戦参加しても、年間ランキングの対象外とする。ただし、各試合での賞品などは受け取ることができる。

### 各戦のエントリーフィー

- ・ボーター：15,000円(25,000円) /コ・アングラ―7,000円(10,000円)

- ・ゲスト ボーター：20,000円(30,000円) /ゲスト コ・アングラ―：10,000円(15,000円)

※( )内は2daysのエントリーフィー

※エントリーフィーは各試合ごとのエントリー期日までに振り込むこと。会場での支払いは受け付けない。

- ・エントリーフィー1年分を一括振り込みにも対応するが、試合が中止になった場合、または自己都合による欠席となった場合、当該試合分の金額を1年間のスケジュール終了後に返金する。なお、返金対象の希望者は、返金分を翌年のエントリーフィーに回すことも可能。その場合はBMC幹部に申し出ること。また1試合ごとにエントリーフィーを振り込む場合でも、振り込み後に欠場となった場合、次戦に繰り越すことを可とする。

#### ◆エントリーフィー内訳

スタッフ人件費、会場設備費、遊漁承認証(釣り券)の購入、施設使用料、大会当日および年間の表彰賞品の購入等。

#### ◆ガソリン代について

各ボートでの精算とし、本部は一切関与しない。原則としてコ・アングラ―が支払う上限を5,000円とし、使用状況によって調整すること。

## メンバー登録・競技中の注意事項

### BMCメンバー登録について

- ・「ボーター登録」、「コ・アングラ登録」をレギュラー戦開幕前までに選択し、エントリーする（登録期限はBMC当該年度のLINEグループにて通達する）。
- ・ボーター登録は以下の条件を満たす者のみ可とする。
  - ▷2級以上の船舶免許を所有
  - ▷けん引免許を所有
  - ▷バスポート（18ft～・175hps～）を所有
  - ▷公道をけん引可能なトレーラーであること（ナンバーを取得していること）
  - ▷ボート保険に加入していること（運営に証書のコピーを提出する）
- ・コ・アングラが不足した際、ボーター登録をしながらコ・アングラとしてのエントリー可の者は、エントリーシートの該当欄にチェックを入れること。なお、ボーターとして登録しながらコ・アングラとして参戦した場合、その艇のスコアが個人成績にも反映される。またその場合のエントリーフィーは通常のボーターのエントリーフィーと同額とする。
- ・ボーター、コ・アングラ問わず、トーナメントジャージは必須。なお、必ず「BMC・TPロゴ」および「バスプロサポート」ロゴを入れること。またボーターは「BMC」と「バスプロサポート」のデッキステッカーを貼ること。なお、デッキステッカー不備の場合、年間の表彰を受けられないこととする。
- ・ゲスト参戦はレギュラー戦開幕前のエントリーは不要だが、以下の条件を満たす者とする。
  - ①BMCメンバーに知り合いがいる
  - ②協調性を持ち、ルールや法令等を遵守できる
- ・ボーターでゲスト参戦する場合は、上記①②に加え BMCボーター登録と同じ条件を満たす者のみ可とする。



左：BMC・TPロゴ。5色から選択可。右：バスプロサポートロゴ。いずれもトーナメントジャージに掲出必須

### 競技中の注意

- ・荒れた湖では、無闇に動かないことが一番の安全と心得ること。
- ・選手は常に気象状況に注意を払い、湖上では移動など早めの対処を心掛けること。
- ・コ・アングラは常にボーターの指示に従うこと。
- ・湖上のあらゆる状況から危険と判断した場合、まず本部に一報を入れた後、各メンバーにも状況を知らせ、早めの危険回避に協力すること。
- ・湖上での事故やトラブルには、細心の注意をはらうこと。
- ・緊急時は本部へ、救助が必要なときは各自の所属マリーナへ連絡をすること。
- ・競技中、天候の急変による競技時間の短縮やランニング場所の変更などは、その年度のライングループにて発信、共有する。したがってコ・アングラは、LINEグループをこまめに確認し、もし本部からの発信があった場合はすみやかにボーターと情報の共有をすること。

緊急連絡先 070-1313-7740（※試合期間中のみ）

#### [注意事項]

いかなる理由があろうと、会場内、トーナメント中、移動中などにおける事故・盗難などの責任は、クラブとしては一切それを負わないものとする。すべて各自の責任のもとで行動すること。





# トーナメントルール

## BMCトーナメント・基本ルール

- 1.対象魚はブラックバスのみ。
- 2.釣り方はルアーに限る(アラバマリグはフック1本のみ可。エサ、フライ等禁止)。
- 3.陸に上がっての釣りは禁止。
- 4.他の釣り人や湖川利用者に迷惑のかかる行為および危険行為は厳禁。クレームなどの通報や他選手からの報告があった場合、事情を聴取したうえで不問、またはペナルティについて幹部会で協議する。
- 5.キーパーサイズに制限は設けない。
- 6.魚への細工は厳禁。発覚した場合、その行為を知らしめるとともに永久追放とする。
- 7.ランディングネットの使用を認める。
- 8.キャッチしたバスはデジタルウエインとする。規定のデジタルスケールで重量を計測し、そのウエイトと魚全体が確認できる(魚が宙に浮いていることが確認できる)写真と、バス持ち写真の計2枚とともに総重量を帰着後に申告する。写真の撮影については下記を参照。
- 9.各日3尾の総重量(2dayも同様)にて順位を決定する。年間順位は全5戦の総重量にて決定する。
- 10.ルール違反は失格またはペナルティーとする(P.17参照。その他、想定外の違反行為については幹部会でその都度、協議のうえ罰則を決定する)。
- 11.ボートをけん引する場合、けん引免許およびナンバーを取得し、交通ルールおよびモラルを厳守すること(臨時ナンバーは認めない)。
- 12.出欠確認は無料通信アプリ「LINE」で行う。選手は必ず決められた期限までに出欠の回答をすること。
- 13.大会中事故等が発生した場合、速やかに本部に連絡をすること。
- 14.法令によって定められたライフジャケット(桜マークが入っているもの)を着用すること(忘れた場合は法定備品の救命具を着用)。

※ルールは適宜、変更することがある。変更が生じた場合はLINEなどで通達する。

## ナンバーベルトについて

- ・ナンバーベルトは試合時に必要となるため、各自大切に保管すること。
- ・ナンバーベルトを紛失した場合、その1年のスタート順は最後尾とする。
- ・ナンバーベルト未装着で出場した場合、失格とする。

## 写真撮影時の注意

### NG



魚が映っておらずウエイトのみ。この場合、スコアとしては認めない。

### OK



魚全体が写っていて、なおかつ宙に浮いている状態が明らかなもの。

# 組み合わせについて

## レギュラー戦の組み合わせ

- 組み合わせは原則、ポーター登録者とコ・アングラー登録者のペアとする。
- 組み合わせは、大会直前の出欠確認をもとに本部で抽選を行いLINEおよびホームページで発表する。
- 組み合わせ抽選を行うため、ポーター、コ・アングラー問わずすべての登録メンバーは必ずLINEからエントリーをすること。
- 組み合わせは試合日の10日前までをめどに発表する。
- コ・アングラー出場可で登録したポーターは、エントリー状況によっては「コ・アングラー」として出場を依頼する場合もある。
- 出場人数により、3名同船艇が出る場合もある。
- Basser誌の取材のため、編集部スタッフが同船する場合がある。乗る艇は組み合わせ発表時に通達する(基本的に断ることはできない。諸事情により直前に同船の依頼をする場合もある)。

## 組み合わせまでの流れ

- 試合日4週間前: 試合の参加確認を実施(申し込み期間は1週間)
- 試合日3週間前: 組み合わせ抽選を実施
- 試合日10日前: 組み合わせ発表

月	火	水	木	金	土	日	
		エントリー期間					○× 回答期限
		保留者最終エントリー期間					△ 保留者最終期限 エントリーフィー入金期限
		組み合わせ抽選					
			★ 発表				
						★ 試合	

## ※注意※

- ※エントリー期間中に必ず、参加(○)/不参加(×)の回答をすること(出場できない場合も必ず回答すること)。
- ※エントリー期間中に回答ができない場合は、必ず事前に運営スタッフまで一報を入れること。
- ※エントリー期限を過ぎた場合、原則として欠場とする。この場合、年間登録料などの返金は行わない。
- ※エントリー期限に遅れたポーターは、コ・アングラーを自ら手配すれば出場できる。ただしシーズン中1回のみ。2回目以降は強制欠場とする。なお、BMCメンバー以外のコ・アングラーを手配した場合、ゲストエントリーフィー10,000円(2Daysは15,000円)が必要。
- ※組み合わせ抽選後のキャンセルは原則として禁止する(葬祭等やむをえない事情は除く)。また抽選後のキャンセルについて、エントリーフィーの返金はしない。



## 2024 シーズン・スケジュール

### BMCトーナメントスケジュール

#### レギュラー戦

- ・第1戦 4月21日(日)
  - ・第2戦 6月16日(日)
  - ・第3戦 7月13日(土)・14日(日)
  - ・第4戦 8月25日(日)
  - ・第5戦 9月21日(土)・22日(日)
- ※予備日: 9月28日(土)・29日(日)

※第3戦、第5戦の2Daysは単日3尾、2日間の総ウエイトとする。なお、2Daysの単日参加は認めない。

#### クラシック

- ・2024年11月16日(土)・17日(日)

※年間ランキング10位までのポーターとコ・アングラが対象。2日間のペア戦で、ペアは当日の朝、抽選にて決定する。

#### BMCオープントーナメント

- ・9月1日(日)

※会場は全戦、霞ヶ浦トーナメントプレイス in 美浦大山スロープとする。

#### コ・アングラ戦

- ・第1戦 3月31日(日)
- ・第2戦 6月2日(日)
- ・第3戦 11月24日(日)

※会場は新利根川・松屋ボート。

#### BMC Winter Open

- ・2025年1月19日(日)

※ポーター、コ・アングラのいずれかが BMCメンバーであること。

#### ※注意※

※他団体のトーナメント日程、およびその他の事情により、日程を変更する場合がある。

※悪天候によって航行に支障が出る場合は中止、および日程を変更する場合がある。

※気象条件により、競技時間を変更する場合がある。

※中止・延期の場合は、試合前々日の金曜日・20時までに BMC公式 SNS (Facebook、X) およびグループ LINE で連絡する。

## トーナメントエリア

### トーナメントエリア(BMCレギュラー戦)

#### ●バサーオールスタークラシックのルールに準ずる。

霞ヶ浦全域(流入河川を含む)・北浦全域(流入河川を含む)・利根川全域(支流を含む。一部、禁止エリアあり)

#### 【禁止エリア】

- ・湖水面保全保護区内
- ・横利根川、新川、前川

※2024シーズンより、新利根川を解禁する。ただし全域デッドスローとし、レンタルボートやおかつぱりなど、他のアングラマーがいる場合は細心の注意を払うこと。

- ・北利根川から与田浦に入る上下2本の水門
- ・与田浦全域
- ・ドック内への進入禁止(緊急時は除く)
- ・「使用中の鯉いけす」へのキャストは禁止
- ・長門川河口水門前より上流～若草大橋まで(千葉県側、北総スロープ周辺)
- ・長門川、将監川、建設省ワンド内
- ・潮止め水門のブイの内側と水門下流域

※水門開門時、潮止め水門には近寄らないこと。

※気象状況等によりエリア変更をする場合がある。その場合、スタートまでに本部より通達する。

#### BMCにおけるデッドスロー、スローの定義

##### デッドスロー

プレーニングしていないこと。

##### スロー

プレーニングして走行できる最低速度。  
目安としてエンジン回転数は  
3500rpm以下、または70km/h以下。



# HIDEUP co.,ltd



# 航行に関する注意事項

## トーナメントエリアの走行について

### ●デッドスローエリア

#### 【霞ヶ浦・北浦】

- ・妙義水道
- ・神宮橋通過時、「一番下流側のみ」
- ・各流入河川

※北利根川、常陸利根川をはじめ、カヌーやカヤック、レガッタなどがある場合はデッドスロー。

※小野川は1本目の橋～真珠棚の終わりまで(下記スロー走行エリア内も参照)。

※恋瀬川は河口部が浅いため、最初の水門まで、周囲への配慮をしながらスロー走行可とする。

#### 【利根川】

- ・各流入河川、水路
- ・北総マリンスロープ周辺
- ・黒部川全域

### ●スロー走行エリア

- ・小野川は真珠棚終わりより上流域
- ・洲の野原内の航路
- ・北利根橋(国道51号線)～常陸利根川橋(東関東自動車道)

### <遊漁承認証(釣り券)の購入について>

今シーズンより試合当日の遊漁承認証(釣り券)をクラブで購入します。霞ヶ浦・北浦での釣りに必要ですが、一部の流入河川は対象となっています。BMCのホームグラウンドである霞ヶ浦・北浦・利根川水系を守るための一環として、協力したいという思いからの判断です。遊漁承認証(釣り券)は試合当日のみ有効。エントリーした選手の人数分を購入し、受付時にお渡しします。事情により直前エントリーとなり、遊漁承認証(釣り券)の購入が間に合わなかった場合は自身で手配することになります(受付時にチェック、不備の場合はすべての流入河川での釣りを禁止)。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



# 受付・ミーティング・スタート・帰着

## 受付・ミーティング

- 受付開始の合図があれば準備の手を止め、ボーターとコ・アングラ、二人そろって速やかに受付を済ませること。
- 規定の時間内に本部にて受付を完了すること(原則ボーターが行うが、必ず二人で受付)。
- 受付時にスコアシートを提出する。

→スコアシートはレジストレーション時に5試合分配布する。

→スコアシートを紛失、または忘れた場合、1枚につきペナルティとしてマイナス500gを課す。

なお、1枚につき500円で販売する。

→スコアシートにはボーターおよびコ・アングラの氏名、ライブウェルチェックおよびナンバーベルト確認済みのチェックを入れる。

→ライブウェルチェックとナンバーベルト装着の確認はコ・アングラが行い、チェックとともに署名を入れる。

※受付時間は事前に告知する。

※体調不良など、コ・アングラの急なキャンセルが出た場合、ボーターのみの参加を認める。ただし、本部への事前連絡を必須とする。またこの場合、ライブウェルでのウエインとする(幹部が検量)。

□当日の注意事項、本部からの連絡事項などの共有のため、スタート前にミーティングを行う。

※ミーティング開始時間は事前に告知する。

□受付に遅れた場合、当日の重量よりマイナス1,000gのペナルティを課す。ボーター、コ・アングラのいずれかが遅れた場合もペナルティとなる。

## スタート

□トーナメント当日の朝、スタート順の抽選を実施する(基本的には受付時。ゲスト参加の選手も含む)。

□2 Days開催の場合、2日目は初日の逆順でのスタートとする。

□スタートに遅れた場合、1時間以内はマイナス1,000gのペナルティ、1時間以上は失格とする。

## トーナメント中～帰着

□帰着時間は全戦14時30分とする(気象条件によって変更の場合あり)。

※2 Days開催の初日は15時とする。

□トーナメント中、体調不良等によってコ・アングラが棄権となった場合は本部まで送り届けた後、競技の再開を認める。この場合、コ・アングラは失格とする。ただし、その時点でコ・アングラが釣ったウエイトはカウントするが、ビッグフィッシュについてはこの限りではない。この場合、次のビッグフィッシュを繰り上げとする。

□ボーターが体調不良などで棄権となった場合は失格とし、コ・アングラも同様とする。

□大会中、急な気象状況の変化等により、移動・帰着が危険な場合は近くのドック、または安全な場所に避難し、本部に状況を連絡して指示を待つこと。

□帰着受付は13時30分からとする(帰着時間の1時間前～)。

□帰着はスタートとは逆方向から戻り、棧橋のスタッフがフライトプレートを確認した時点で完了とする(※次ページの図を参照)。気象状況など緊急時の帰着についてはLINEにて連絡する。強風の予報などが出ている際、コ・アングラは競技中、LINEの確認を怠らないこと。

□帰着遅れ(10分未満)は当日の重量よりマイナス1,000gのペナルティを課す(トラブルによりレスキューを受けての帰着遅れの場合も同様)。

□10分以上の帰着遅れは失格とする(トラブルによりレスキューを受けての帰着遅れの場合も同様)。

□レスキューを行った船の帰着遅れは失格とせず、検量も行う(ただし、本部への事前連絡は必須)。

□トラブル時は他の船での帰着・ウエインを可とするが、デッドフィッシュなどの責任はトラブルが発生した艇(メンバー)のものであり、レスキュー側がそれを負うものとしなない。

□競技時間中のトラブル時のレスキューはそれぞれの所属マリーナに連絡をすること。

□競技時間後のメンバーへのレスキューの要請があった場合、速やかに協力すること。

□エンジントラブルや座礁などにより、他船の航路を妨げてしまい、その影響で自船は航行可能にもかかわらず帰着に遅れそうな場合、その旨を本部に連絡すればペナルティは課さない。ただし、連絡なく遅れた場合は通常のペナルティを課す。また、その周囲にいる艇は速やかにレスキューに協力すること。



# ウエイン・表彰式

## ウエイン

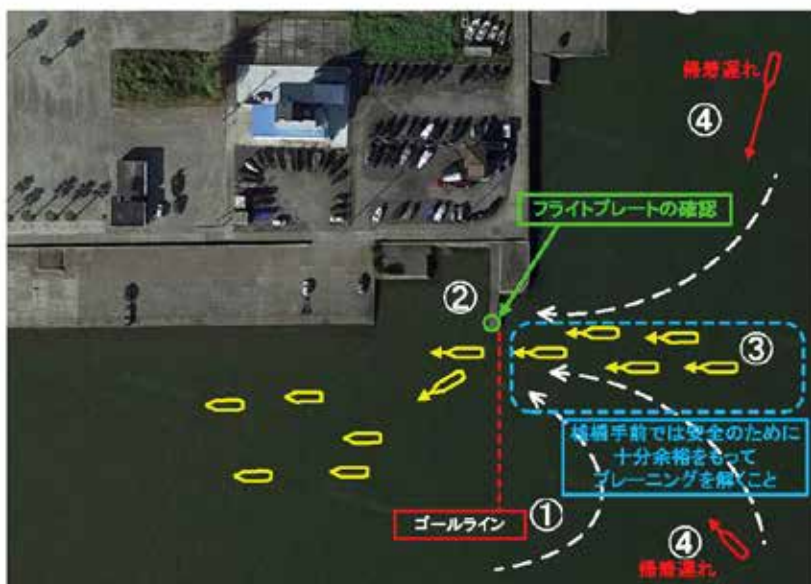
- デジタルスケールは貸与するものを使用する。なお、デジタルスケールは毎試合、ウエイン時に回収する。
  - デジタルスケールを紛失した場合、当該試合、およびその次戦はマイナス500gのペナルティとし、加えてデジタルスケール代の実費を請求する。
  - デジタルスケールで魚全体が写っており、なおかつ重量がわかるものと、バスを持っている選手、計2枚の写真を撮影し、保存した画像によってスコアとする。魚は原則リリース。
  - 帰着後、スコアシートにウエインを記入し、運営スタッフに提出するとともに写真の提示を行う。
  - 1000g以上の魚は必要に応じて写真撮影用にライブウェルでキープし、帰着後スタッフに申告する。撮影はスロープにて行うため車を移動せず、撮影が終わるまでその場で待機すること。
  - 原則として、帰着時間から30分後に検量を開始する。
  - 1艇がウエインできる尾数は3尾(2Daysも単日3尾、2日間の合計ウエイト)とする(キーパーサイズの設定はナシ)。
  - 不正が発覚した場合、その試合を失格とするだけでなく、警告または退会を勧告することもある。
  - デジタルスケールの電池切れや故障の場合、ライブウェルでのウエインを認める。この場合、デッドフィッシュも検量可だが、1尾につきマイナス500gとする。ただしすべての魚がデッドフィッシュの場合は失格。
- ※デッドフィッシュとは魚体が硬直している状態を指し、エラが動いてればOKとする。ライブウェルでのウエイン時や、撮影用にキープする際は魚がデッドフィッシュとならないよう、全力で看護にあたること。

## 表彰式

- 原則として、帰着1時間後をめどに表彰式を行う。
- 参加選手はトーナメントシャツの着用を必須とする(持参を忘れた場合、受付時に申告する。この場合、ペナルティはマイナス500g。申告がなく着用していない場合は失格)。
- 表彰式には必ず参加すること。やむを得ず参加できない場合は、事前に本部へ申告すること。

### 帰着について

- ① 下図のように桟橋の延長線をゴールラインとし、図面右側から桟橋に向かう。左側から帰る船も桟橋を廻りこむようにして右側から入ること。
- ② 帰着艇は帰着時間までに桟橋手前でブレーニングを解き、桟橋にてフライトプレートを確認することで帰着とする。
- ③ 帰着時間前には桟橋手前でフライトプレート確認待ちの船列ができると思われるが、その列に並んでいればフライトプレートの確認が帰着時間を過ぎても帰着と認める。
- ④ 帰着時間を過ぎても船列にも並ばず、またブレーニングが解けていない船は帰着遅れとする。



## レギュラー戦の表彰・年間表彰

### レギュラー戦の表彰について

- 各レギュラー戦では1～5位とビッグフィッシュの表彰を行う。
  - ※ビッグフィッシュ賞は艇ではなく、釣った者に賞品を授与する(ボーター、コ・アングラ―不問)
- スコアが同ウエイトの場合、ウエインした魚のうち、最大魚のウエイトで決めるものとする。
- 賞品の分配は、各ペアの選手に一任し、クラブは関与しない。
- 以下のレコードを更新した者については、シーズン終了後に金一封を授与する。
  - ①過去のBMCトーナメントで出たトータルレコード  
参考: 5,080g 2015年第3戦 千葉恒太・中林正臣ペア
  - ②過去のBMCトーナメントで出たビッグフィッシュのレコード  
参考: 2,610g 2007年第8戦 池谷太郎
  - ③昨年のBMCトーナメントで出たビッグフィッシュのレコード  
参考: 2,210g 2023年第1戦 並木勇人

### シーズンの表彰について

- ボーター部門、コ・アングラ―部門それぞれで年間表彰を行う。なお、年間表彰については全戦参加を必須とする。
  - ボーター部門
    - 年間1位(Angler Of the Year): 優勝盾、賞品、バサーオールスタークラシック出場にクラブから推薦
    - 年間2位: 賞品、翌年のバサーオールスタークラシック・ワイルドカード出場権
    - 年間3～5位: 賞品
    - ※年間上位10名はクラシック出場権(エントリーフィーおよび宿泊は無料。※クラブで手配のみ)
    - ※シーズン途中からのエントリーに際し、A.O.Y.のタイトルおよびクラシック出場権の獲得は認めるが、バサーオールスタークラシックへ出場への推薦、および年間ランキングにまつわる賞品の権利は有しないものとする。
  - コ・アングラ―部門
    - コ・アングラ―戦(3試合)とレギュラー戦で釣ったウエイト(1試合3尾まで)の合計で年間順位を決定する。
    - 年間1位(Co-Angler Of the Year): 優勝盾、賞品、翌年のエントリーフィー免除、ボーター指名権(2Daysを除く)
    - 年間2～3位: 賞品
    - ※年間上位10名はクラシック出場権(エントリーフィーおよび宿泊は無料。※クラブで手配のみ)
  - 年間ビッグフィッシュ
    - 賞品
    - ※ボーター、コ・アングラ―を問わず、BMCにメンバー登録している者のみ対象とする(ゲスト参加は除く)。
    - ※レギュラートーナメントが対象。コ・アングラ―戦、オープントーナメントは除外。

#### 【クラシックについて】

- ボーターの年間上位10名とコ・アングラ―の上位10名がペアで参加する。ペアは当日の朝、抽選で決定。優勝ペアには賞品を授与する。

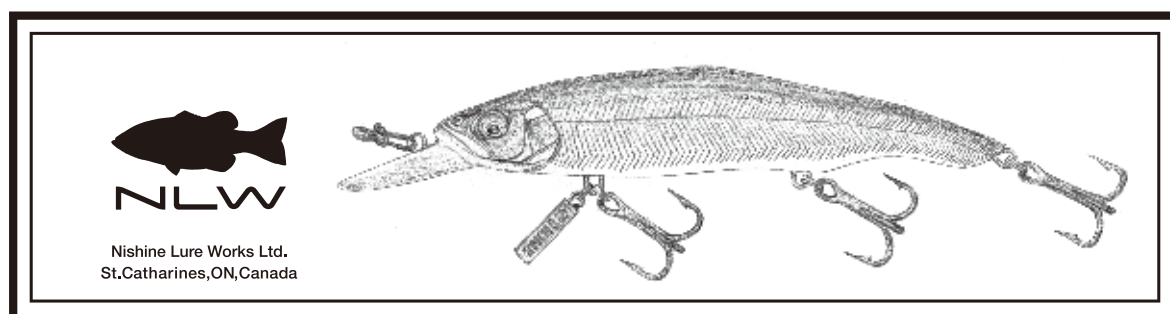
#### 【年間順位の決定方法】

- 1年間の総重量で年間順位を決定する。
- 同ウエイトが複数いた場合は、そのシーズンの最大魚のウエイトで決する。



## ペナルティ一覧

項目	ペナルティ	備考
ルアー以外の釣りが発覚した場合	失格	
陸での釣りが発覚した場合	失格	
トーナメントエリア外、 および禁止エリアでの釣り	失格	
魚の写真に関する不備	魚全体が写っておらず、ウエイト部分の写真のみの場合、 その魚のウエインは認めない	
桜マークのある ライフジャケットの未着用	失格	
キルスイッチを ライフジャケットに未装着	失格	
ナンバーベルトの未装着	失格	ナンバーベルトを紛失した場合、再購入すること またそのシーズン中、スタートは最後とする
トーナメントジャージの未着用 (受付時に申告がなかった場合)	失格	申告があった場合、マイナス500g
連絡なしの遅刻	失格	
魚への細工	失格	また、その不祥事を知らしめるとともに <b>永久追放</b> とする
スコアシートの紛失	1枚につきマイナス500g	
デジタルスケールの紛失	当該試合、および次戦で マイナス500g	また、デジタルスケール購入に関する実費を請求する
ライブウェルでウエインした魚が デッドフィッシュの場合	1尾につきマイナス500g	すべての魚がデッドフィッシュの場合は失格とする
走行規定違反	マイナス500g 次戦のスタートは最後尾	
受付の遅刻	マイナス1000g	
スタートに遅刻 (スタートから1時間以内)	マイナス1000g	1時間以上の遅刻は失格とする
帰着遅れ10分未満	マイナス1000g	レスキューを受けての帰着遅れも同様
帰着遅れ10分以上	失格	レスキューを受けての帰着遅れも同様
ボーターのリタイヤ	失格	
フライト順プレートの紛失	マイナス500g 次戦は最後スタート	別途、プレートの再製作に関する費用を請求する
他の釣り人や湖川利用者への 迷惑行為・危険行為	本部への報告や通報があった場合、当該選手に事情聴取したうえで、 幹事会で不問または罰則の協議を行う	

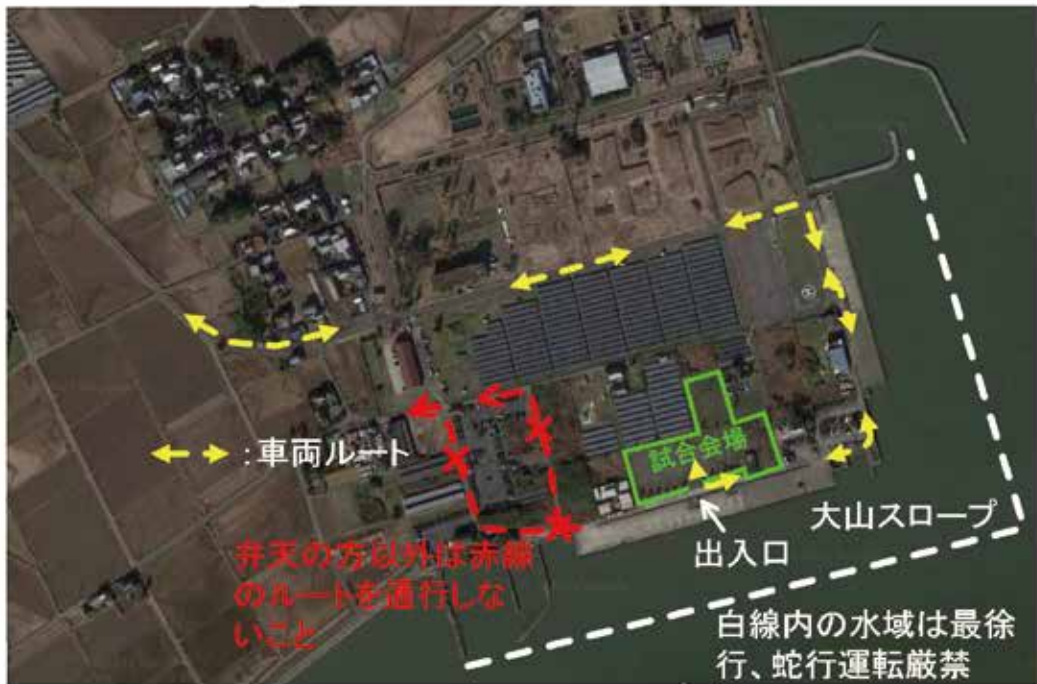




## 会場利用上の注意

# 霞ヶ浦トーナメントプレイス in 美浦大山スロープ

### 試合会場への道順



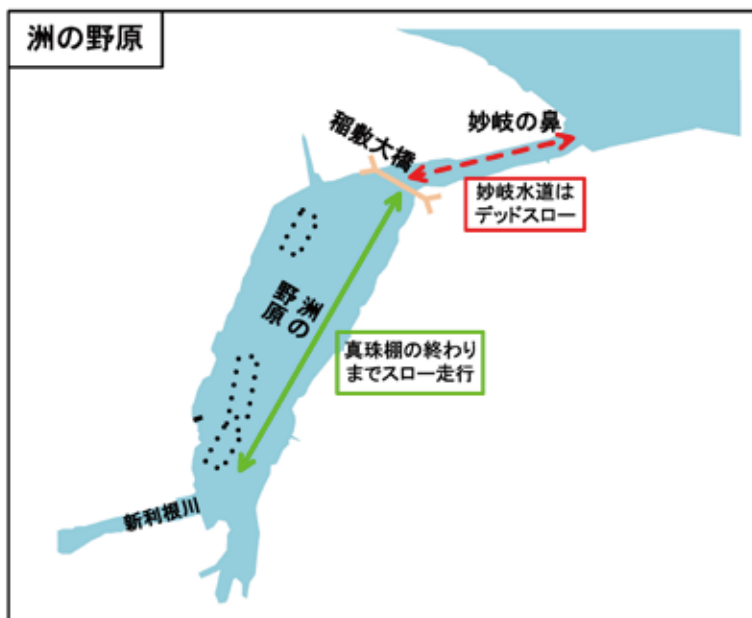
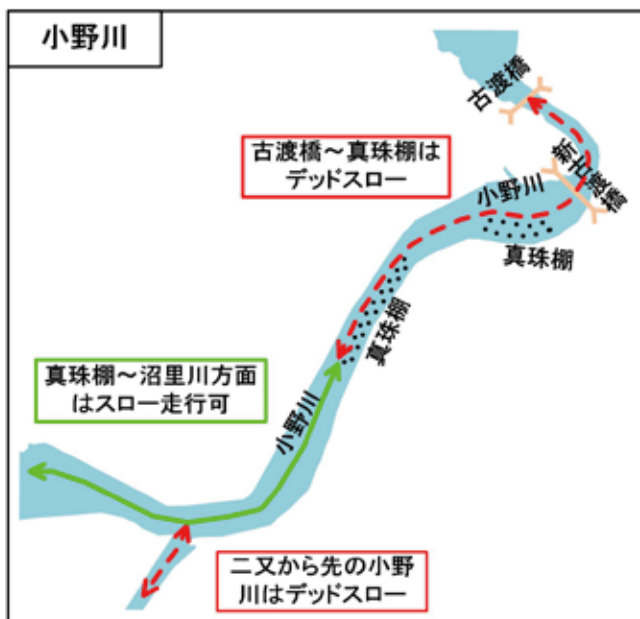
### 集合





# 禁止エリア・走行規定

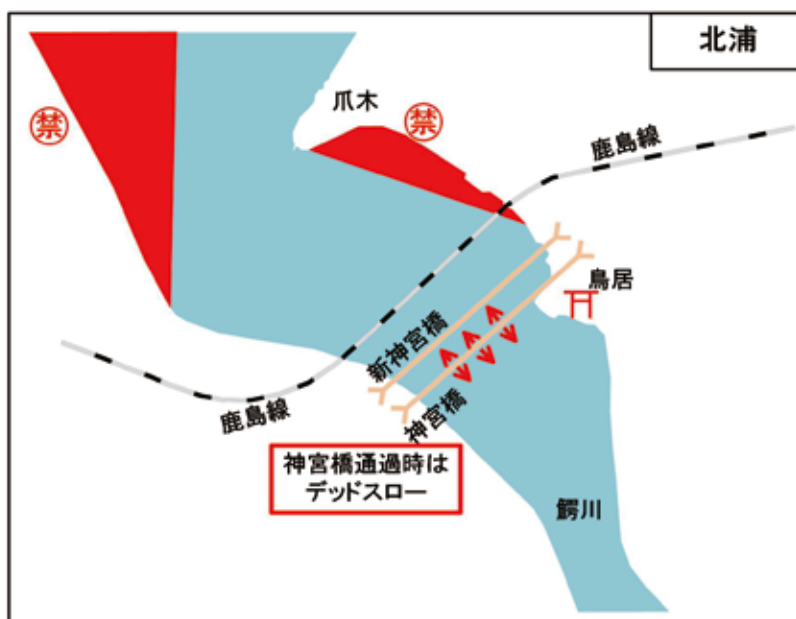
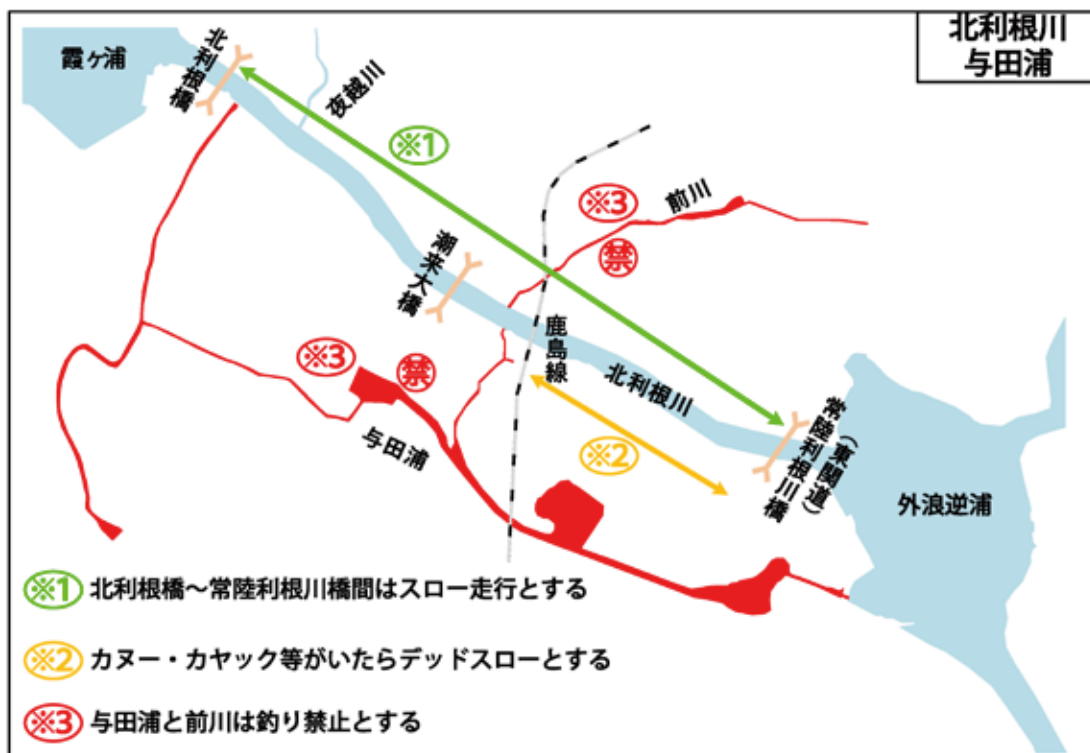
## 小野川／洲の野原





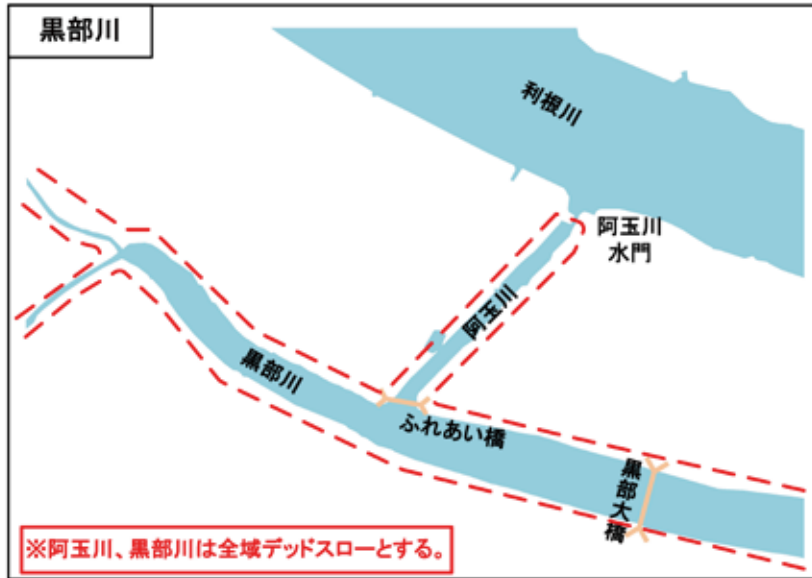
# 禁止エリア・走行規定

## 常陸利根川・与田浦／北浦

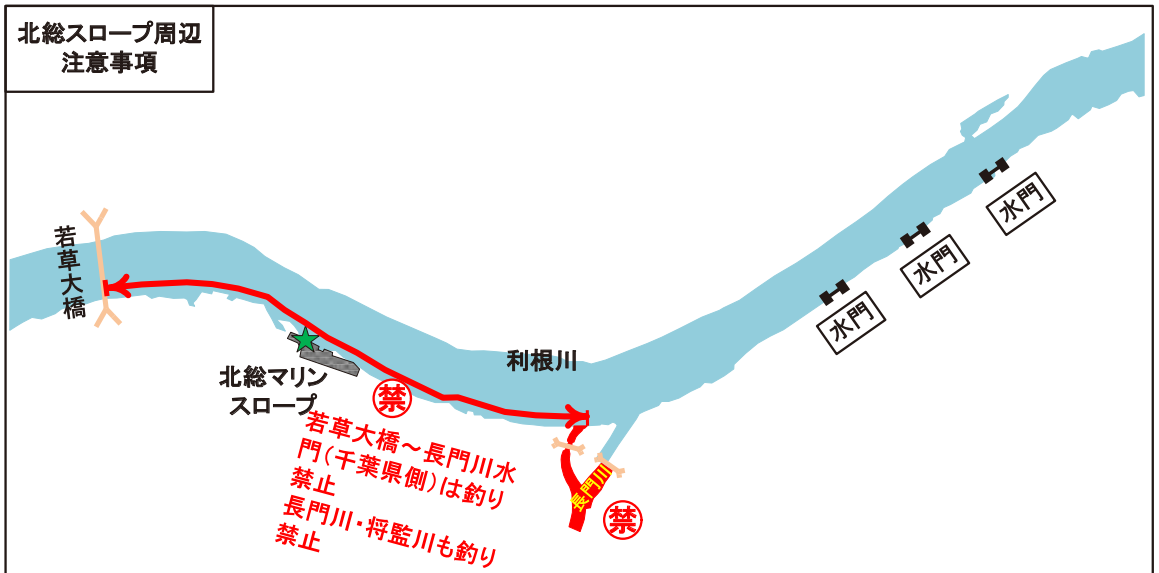


# 禁止エリア・走行規定

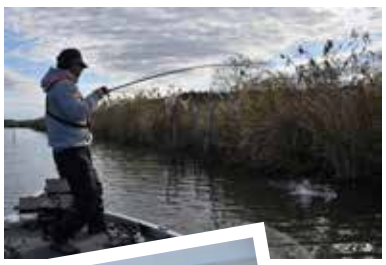
## 黒部川／利根川



※黒部川は一部、浅い場所があり、プレーニングしないと通過できない場合もある。  
その際はまわりに配慮し、注意しながらスロー走行を認めるものとする。



 **TORRHINO**  
polarized sunglasses



# BMC

## 2023 Chronicle





BMCLレギュラートーナメント2023シーズンの開幕戦を制したのは、矢口悟司・並木勇人ペア。強風によるエリア制限と春先の一戦ということもあり、流入河川に船が集中。スタート直後、大山から小野川へとステアリングを切った4艇のなかに矢口艇もあったが、そこはBMC随一のスピードスター。デッドヒートを制し、最上流域を制圧することに成功した。釣りの方は「スーパーコ・アングラー」の呼び声高い、並木勇人がO.S.Pジグゼロワン+ベローズギル3.8インチで、初戦にして年間ビッグフィッシュを決定づけるような2210gをキャッチ。矢

口も負けじとクリーチャーホグやパワーホッグ3インチのテキサスで690gと640gを釣るなどボーターの意地を見せ、参加艇中、唯一のリミットメイク。主戦場に据えたのはスポーニングに入ってくるであろう個体に狙いを定めたアシだった。2位は桜川河口をハイピッチャーで攻め、1940gをウエインした今井新・矢作年央ペア。3位は倒れたアシなどの“被り物”を攻略した大石智洋・神山樹ペア。そして4位に郡司潤・青木潤平ペア、5位に伊藤康晴・市原祥宏ペアが続く結果となった。

# 驚愕の2キロフィッシュ！ 矢口・並木ペアが圧勝

2023 Regular Tournament 1st 2023年4月2日

## Winning Bait

O.S.P ジグゼロワン 7g  
(O.S.P)

春先のデカイメスはボリュームのあるジグを使い、中層で誘うのがセオリーという並木勇人。ベローズギル3.8inは春の定番で2022シーズンの初戦でも1500gフィッシュをキャッチしている。

+

ベローズギル 3.8in  
(ジークラック)



左から、初戦を優勝という幸先の良いスタートを切った矢口悟司。スタート直後のスピード勝負を制したこともこの一勝につながった。2位の今井新は、荒れた湖面を突き進むという「無謀」ではなく「挑戦」で1940gをキャッチ。3位の大石智洋。モコリークローのテキサスでバイトを得るもフックアップせず、フォローのカットテールで取り返した。4位の郡司潤は洲の野原のディーブに隣接するアシを攻めた結果。5位はコ・アングラーの市原が躍動。ボーターである伊藤康晴の巧みな操船技術もあり、強風の中でも釣りに集中することができたとコメント



31艇・62名のアングラ―が結集して開催されたBMCレギュラートーナメント第2戦。スポーニングに関係するさまざまな個体が入り混じる中、300~400gを中心に24艇がウエインと、総括すれば全体的に釣れた一戦となった。そんな混戦を制したのは、郡司潤・神山樹ペア。霞ヶ浦トーナメントブレイスのスタッフである郡司は業務の合間を縫って湖上に立ち、プラクティスという感覚ではなく日常として霞ヶ浦に向き合ってきた。「リミットが3本なので、とにかくウエイトがある個体

を3つ釣ることを目標にしました」と郡司。アフター回復の個体がさしてくる流入河川の上流部で、ブッシュの先端から滑り込ませるようにバックスライド系のワームをアプローチ。1300g超を2本獲ることに成功し、優勝を決めた。使用したのはRVドリフトクロー。滞空時間の長いフォールが特長で、信頼度の高いベイトだという。2位は今シーズンから参戦の飯田秀明と島田悠一ペア。飯田は見えバスを攻略し、1370gでビッグフィッシュ賞も獲得した。



**アフター回復に的を絞り  
確信のバックスライドで二発！  
2023 Regular Tournament 2nd 2023年6月18日**



**Winning Bait**

RVドリフトクロー  
(ジャッカル)



左上から右へ／高校生の神山樹は郡司のYouTubeで予習して臨んだそう。恋瀬川、梶無川を主戦場に2150gを持ち込んだ齊藤真也・金澤匡秀が3位。こちらも恋瀬川をメインにした篠孝太郎。ペアの羽生剛と力を合わせ4位で初の表彰台に上がった。5位の荻山健人・高橋元気ペア。コ・アングラ―の高橋がすべての魚を釣り、1910gをウエイン。左下／飯田秀明・島田悠一ペアはブッシュ打ちでベースを作り、サイトでスコアアップという理想的な展開で準優勝

「食ってくるやつはキロアップ」と、郡司が絶対の自信をもって投入したRVドリフトクロー。扁平ボディを生かしたバックスライドで試合はもちろんおかつぱりで50cmアップも！



# 自身3回目の利根川釣行で 非凡な才能を見せて初優勝

## 2023 Regular Tournament 3rd 2023年7月2日



初夏の利根川戦を制したのは、今シーズンから参戦のポーター、伊藤康晴と矢野綾大ペアだった。伊藤は試合前に航路を確認することに重きを置いたブラクティスを2日間行い、試合本番で利根川釣行は3日目という経験の浅さ。しかし、伊藤の盟友で旧知の仲である野村俊介プロいわく「タックルなどの装備から練習まで、一切妥協をしない。その積み重ねが今回の優勝につながったのだでしょう」とのこと。そんな伊藤は水位が下がってから勝負どころととらえ、小貝川とのインターセクションから釣りをスタート。矢野の560gを皮切りに、伊藤がサイトで1900g、ベイトフィネスのカバーネコで1230gを追加。「ほぼ経験がなかったので、見えるカバーを全部打っていたらキリがない。水位が下がったことで打つべきカバーを見極められた」と伊藤。自身が得意とするスタイルで、うれしい初優勝を飾った。2位はBMCの生え抜きでありベテランの安藤毅(コ・アングラーは猪俣健一郎)。1940g、1040gなど孤軍奮闘も、あと220gが埋まらなかった。

### Winning Bait

ドリフトクラブミニ  
(ジャッカル)

プレッシャーがかかっていると判断した見えバスに対して伊藤がチョイスしたのはドリフトクラブミニ。ジグヘッドワッキーでセットし、静かにアプローチして食わせた



上から順に、ジミーシュリンプ(ジャッカル)のテキサスで矢野が手にした1本が快進撃の始まり。2位の安藤はブッコミクロー(レイドジャパン)をメインにカバーを攻略。ゲスト参戦の麻生雅之はTBCでの経験をいかし、コ・アングラーの早野裕哉と絶妙なコンビネーションを見せて3260gで3位。ポーターの今井新がベースを作り、コ・アングラーの野口光規がキッカーをキャッチして2970gをウエインし4位。山本研一とペアのコ・アングラー梶田誉は2150gで5位とビッグフィッシュ賞

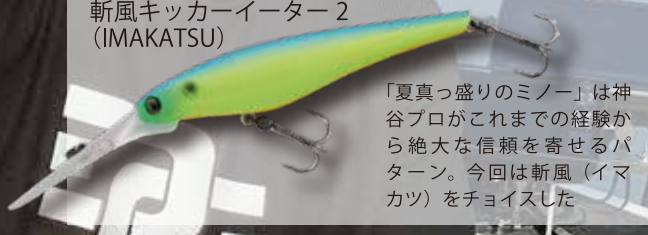


篠は得意の恋瀬川で神谷がミノーを巻くなか、ライトリグという対極の展開でビッグフィッシュ賞を手にした



**Winning Bait**

斬風キッカーイーター 2  
(IMAKATSU)



「夏真っ盛りのミノー」は神谷プロがこれまでの経験から絶大な信頼を寄せるパターン。今回は斬風(イマカツ)をチョイスした

**バスプロ・神谷勇紀降臨！**  
**ミノーで制した真夏の一大戦**  
2023 Regular Tournament 4th 2023年8月20日

右上／赤羽・早野ペアは流入河川でスコアメイク。右中／ゲスト参加のマーモこと加木屋守は桜川で完徹。貴重なキロフィッシュをコ・アングラーの川口雄司がキャッチし3位。右下／池谷太郎・千葉恒太ペアは洲の野原の真珠棚を攻めて4位。下／富村貴明・西田稔洋ペアは細かな入れ替えを繰り返して5位入賞



JB TOP50で長年活躍を続けてきた神谷勇紀が2023 シーズンよりBMCトーナメントに参戦。その初年度にしていきなり、ポテンシャルの高さは健在であることを見せつけた。茹だる暑さという表現がふさわしい真夏の霞ヶ浦で、2位に1kg以上の差をつけ、圧倒的な強さで制した。メインにしたのは恋瀬川。水深やエグレがあるアシを打つも反応がなく、バンクから5~10mほどの沖にスイッチ。「夏真っ盛りのタイミングはクランクより、細身のミノーが爆発することがある」という経験に裏打ちされたルアーチョイスで、1430gをキャッチ。コ・アングラーの篠孝太郎も1480gで勢いに乗り、数を重ねながら入れ替えを繰り返して、3460gで第4戦を制した。「同じエリアで別々の釣りをしたことや、パートナーが恋瀬川に詳しくいったことなど、ペア戦の強みを存分にいかせました」と振り返った神谷。また一人、ツワモノがBMCトーナメントに名を連ねた。2位は赤羽修弥・早野裕哉ペア。清明川や桜川などの流入河川を主戦場に据えてスコアを重ねた。3位はゲスト参戦の加木屋守と川口雄司ペア。桜川で入れ替えを繰り返してスコアメイクに成功した。4位は池谷太郎・千葉恒太ペア。直近に控えたBasser Allstar Classic THE WILD CARD に出場する池谷のブラクティスも兼ね、有望なと考えられるエリアのひとつ、洲の野原の真珠棚でリミットメイクを果たした。



レギュラートーナメント最終戦は2日間の戦い。初日は大石智洋・並木勇人ペアが3980gを持ち込むという展開。次いで郡司潤・木村翔太ペアが3230gがあとを追う。どちらもウエイト次第では年間優勝も見えてくるため、最終戦にふさわしいデッドヒートで初日を終えた。注目の最終日。安定感を見せたのは郡司・木村ペアだった。勝利パターンはプラクティスから絶対の自信があったという、北利根川および常陸利根川のアシ打ち。「プラから本戦まで合わせると10kgは釣れた」というほどのポテンシャルを見せ、2日目も3780gをウエイインし、大石・並木ペアを圧倒。プラクティスの際に負

傷した脇腹の痛みや、エレキのトラブルなどの逆境も跳ねのけ、2023シーズン2勝目を達成した。年間優勝はわずかに届かず大石に譲ったものの、まだまだこの先が楽しみな潜在能力の高さを見せつける結果となった。2位は大石・並木ペア。「とにかく、この釣りウマ(並木)を生かすことだけを考えた」という大石は、北浦上流・巴川を主戦場を選んだ。その目論みがうまくハマリ、並木は2日間連続で2kgフィッシュをウエイインするというはなれわざを見せるも一歩届かず。しかし、このビッグウエイトは大石の大逆転による年間優勝につながった。

# 唯一の7kgオーバーで シーズン2勝を達成！ 2023 Regular Tournament 5th 2023年11月11-12日

右上/2日連続2kgフィッシュをキャッチするという並木の偉業もあり、6450gをウエイイン。大石は2位フィニッシュと同時に A.O.Y.も獲得した。左から、流入河川のシャローカバー打ちで5位の飯田秀明。コ・アングラー市原祥宏の活躍でゲスト参加のサトケン(3200g)で4位に。単日参加ながら、小規模河川の河口でスコアメイクした川村泰雄・松村秀希が3440gで3位フィニッシュ







左/準優勝の郡司潤・小島貴ペア。右/鈴木幹往・矢作年央ペアは3位入賞。20艇中3艇がウェイインという非常に厳しい結果となった



片岡壮士、小島貴、千葉楓太、山崎計文という4名のBasser Allstar Classicアングラーが参戦するなど、記念すべき第1回はかなり賑やかな顔ぶれだった



# ウィンターオープン初代王者は 中嶋・平泉・羽生チーム！ BMC Winter Open 2023 2023年1月15日



左から、羽生剛、中嶋美直、平泉康成。シャッドをはじめとした巻き物や、打ち物など、3人がそれぞれの得意を生かしたスタイルで役割を分担。勝負を決めた羽生の1本は真珠棚に巻かれながらも、なんとか手にしたという執念を見せての優勝を果たした

ハイシーズンだけじゃない。オレたち BMCは寒い冬でも本気で遊び、本気で戦うってところを見せてやろうぜ、ということで始まったウィンターオープン。20艇43人のアツいアングラーが集結し、熱戦を繰り広げた。初代王者に輝いたのは、2022年の BMCオープントーナメントで2位の苦渋をなめた中嶋美直・平泉康成・羽生剛チーム。小野川の真珠棚より上流のディープがあるエリアで3人乗船のメリットを生かしてそれぞれで役割を分担。一度はくじけそうになるも、おかつぱりのアングラーがバスを手にしたシーンに遭遇し、気を取り直して再チャレンジ。真珠棚をタイトに攻めていた羽生の Dシャッドを襲ったのは42cmの1本だった。2位は郡司潤・小島貴ペア。北利根川の消波ブロックで、ウォブリング2.5inのヘビダンで38cmを手にした。3位は鈴木幹往・矢作年央ペア。他より少しでも水温が高い場所を探し、堀割川で33cmという結果だった(3本の全長勝負)。



レギュラートーナメントの開幕戦で2210gというモンスターをキャッチした、「スーパー・コ・アングラ」の呼び声高い並木勇人が、コ・アングラ戦第1戦でも優勝。11セットものタックルを組むという気合の入れようで、ディフェンディングチャンピオンの意地を見せた。狙ったのは水位が低かったことを鑑みて、沖めのストラクチャー。上流の真珠棚で2本、ギャップジグ5g+ブルスホッグでキャッチ。さらにアシのストレッチにある垂直護岸で1520gのキッカーをキャッチするという理想的な展開で、2位の矢作年央に1kg近い差をつけるという圧勝で、2年連続の年間優勝を決定づけた。



## 初戦で年間優勝が決定!? 並木勇人、3040gで圧勝!

BMC コ・アングラ戦 第1戦 2023年7月30日



## 唯一のウェイイン! 鎌田智夢、悲願の初優勝

BMC コ・アングラ戦 第2戦 2023年11月26日



2023年のバサーオールスタークラシックに BMC代表として参加してきました。2022年度の BMCレギュラートーナメントのアングラオプ・ザ・イヤーを、僅差で取ることができたことによる出場権獲得でした。

11年前に W.B.S.のクラシックを制して出場したことがあるので、今回が2回目の出場です。そのときの会場は利根川でした。経験がないフィールドでのプラクティスに時間を多く費やす必要があり、得意な霞ヶ浦での勝負ができず、2本・1130gで終わったことは少し心残りでした。

そして今回。会場を霞ヶ浦トーナメントプレイスに移し、霞ヶ浦で勝負できるという念願がかなったことと、美浦村民としても地の利を生かした試合運びができるのではという思いもあり、とても力が入っていました。

週末のプラクティスは2カ月くらい前から。1週間前からは毎日湖に出て、霞ヶ浦、北浦と広く練習しました。9月の雨の後からフィールドコンディションが悪化していることはわかっていたので本湖での勝負は厳しいと感じ、まずは流入河川へ。さらに北浦と広く探るうちに、今回はローウエイト戦になるのでは、という思いが強まりました。実際、利根川以外のエリアを朝から晩まで本当に広く練習しましたが、プラクティスで釣ってしまうと本番での魚がいなくなってしまうのではないかとというくらい魚が薄い状況。残念ながら本番では結果が出ず、思い返すのも嫌なのですが、これも経験。今回の練習でいろいろと得たものは多いので、この惨憺たる結果を挽回するため、三度この場に立てるよう今後に生かしたいと思います。

今回本気で練習に取り組んで思ったことは、やはり魚影の薄さです。練習しても再現性がないためゲームとして本当に難しく、魚は以前の1/10以下まで減ったのではないかと感じます。そんな中でも魚を大事にしていくことはとても大切で、BMCで採用しているデジタルウエイインは、魚を保護する上でとても有効な方法だと思います。魚が少なくなっている要因は諸説ありますが、釣り人として出来ることはやっていきたいと思います。

最後に、今回は2日目の朝に起きた車トラブルでは多くの BMCのメンバーに助けていただき、奇跡的に遅刻することなく参加することができました。特に車で迎えに来てくれた伊藤選手には本当に感謝です。また、練習においてサポートしていただいたルートフィッシング酒井さんと、バスプロサポートさんにもこの場を借りてお礼申し上げます。これまで大山スロープは自宅から近いものの、一人でランニングするのが難しいということもあって敬遠してきました。しかし、バスプロサポートさんのサービスが始まったことで、早朝でも快適にランニングできるようになりました。帰着時にも速やかにトレーラーを回してくれるので、本当に快適です。今後はさらに施設も充実するようなので、期待しています。

# 清水綾の挑戦。

## 〜Basser Allstar Classic 2023 を振り返る〜

2022年のA.O.Y.を獲得した清水綾。クラブからの推薦により、2023バサーオールスタークラシックに出場した。改めてこのトーナメントの偉大さ、そしてBMCメンバーをはじめとしたまわりのサホートの心強さを感じた一戦になったという。その思いを本人に語ってもらった。





池谷の一人勝ちを阻止した大石智洋。毎週末を霞ヶ浦で過ごす意地を見せ、シャローから春を感じさせる1060gの個体を引きずり出すことに成功した



2022年度のクオリファイヤー。左から金井敏(年間5位)、清水綾(同1位)、池谷太郎(同3位)、大石智洋(同4位)、今井新(同2位)





メインに選んだのはレベルシャッドスプリンター68SR(上)・レイドジャパンとリップライザー130フットマシック(下)イマカツ



2022シーズンよりスタートした BMCクラシック。年間成績上位5名がクオリファイできるこの一戦。そのシーズンを代表する手練れの共演は2023年3月5日に、タイフーン駐艇場を会場に開催した。

まだまだ冬の様相が色濃く残るタイミング。三寒四温の「寒」にあたり、北風雨が吹き荒ぶ中でのスタートとなり、全員ノーフィッシュのノーコンテストも危惧されたが、そこは BMCの中でもトップクラスの5人。2名の選手がウエインを果たし、2022シーズンを締めくくった(本来は2022年晩秋の開催予定だったが荒天により順延)。

## 早春のスタンダード シラウオパターンで初代王者に BMCクラシック2022 2023年3月5日



優勝を果たしたのは、年間3位でクオリファイした池谷太郎。シラウオパターンという、いわば早春の風物詩的な展開で頂点に立った。そのなかで池谷が目じたのはルアーの潜行深度。通常のシャッドのようにボトムを叩きすぎるものは不向きとの判断から、選んだエリアのボトムを叩きすぎない深度をもっていたレベルシャッドスプリンター68SRをチョイス。まずはこの時期の定番中の定番、和田岬に入るも、同日に開催されていたおかげで大会の参加者で賑わっており断念。東岸をチェック後、「ウインディーサイドで巻けるストレッチ」を求めて移動。桜川河口の石積みで1600gの1本にしてキッカーとなった個体を手中に収めることに成功した。強風をもともせず敢行したロングランが功を奏した結果となった。

仕事の都合でブラクティスに入ることもままならず、経験に頼る展開が多かった2022シーズン。それでもしっかり結果を出し、安定感抜群の試合運びで掴んだクラシック出場権。2022シーズンの池谷の強さを改めて感じさせる、見事なまでの完勝劇だった。

もう一人、この状況下でウエインを果たしたのは年間4位の大石智洋。毎週末を霞ヶ浦で過ごす熱血漢は、得意のシャロー打ちで勝負。1060gをウエインし、2位でフィニッシュした。

エリア、タイミング、そしてルアー。すべてがピッタリとはまったことを裏付けるかのように、レベルシャッドをがっぶり食っていた



年間3位で出場権を得た矢口悟司。得意のスィムジグで2本・2300gまでスコアを上げて猛追するもあと一本が出なかった…



2023年チャンピオンの大石は最終戦で爆発した巴川へ直行。しかし2週間で季節は進み、1本・770gをウエイインし3位に



年間2位の郡司潤も、最終戦のパターンに固執した選手の一人。前日の夜に吹いた風も影響し、1本・540gで4位フィニッシュ



花室川や桜川の河口を中心に朝は巻き物、要所で打ちの釣りも入れ他という年間4位の富村貴明。しかし、無念のゼロ申告…



# 自身の得意なスタイルを貫き 伊藤康晴、涙のクラシック制覇

## BMCクラシック 2023 2023年11月26日



4バイト3フィッシュで2580gをウエイン。最初のミスで自分のパターンが生きていることを確信。13時にはリミットメイク



出場した5人の選手のなかで、最後に自分の名前がコールされた瞬間。渾身のガッツポーズでその喜びを表現した伊藤康晴。年間タイトルは惜しくも逃したものの、クラシックというもうひとつのビッグタイトルを手中に納めた



ウイニングルアーはドライビーバー-3.5(O.S.P)の5gおよび7gのテキサスリグ。カラーはエビミソブラックをチョイス

年間成績上位5名で行われる、BMCクラシック。たった5人のヒートバトルを制したのは、2023シーズンから参戦の伊藤康晴だった。デビュー戦を5位でフィニッシュ(コ・アングラーの魚ではあったが)。第3戦ではブラクティスも含めて浮くのは3回目という利根川で、得意のカバー打ちをメインに優勝。シーズンを通してコンスタントにウエイトを重ね、年間5位でクラシック出場権を獲得した。

「レギュラー戦の年間タイトルにすべてを賭けていた」と話す伊藤。最終戦は準優勝を果たした大石とエリアがバッティング。結果的には釣り負ける形となり10位と惨敗。この悔しさをぶつけるべく気持ちを切り替え、クラシックに準準を合わせた。

1週間前のブラクティスでは非常に厳しいながらも、自分らしい釣りでバイトを得ることができた。基本的にはカバー打ち。普段はネコリグで釣っているのだが、「ストン」と落ちるリアクション要素を意識することでバイトが出たという。「基本は落ちパクですね。誘っている最中のバイトはなかった」、と伊藤。テンポよく打っていくスタイルに活路を見出していた。

初冬の霞ヶ浦のセオリーは石積みや消波ブロック。しかし、「この時期のカスミは経験がなく、そんな釣りも苦手。得意のシャロカバは誰にも負けられないという自負がある。でも、本湖のシャロカバはもう、魚がないんで、という伊藤が選んだのは流入河川。小野川のアウトサイドベンド、チャンネルができるだけ寄っているブッシュで、ササヤイバラ、ちょっとした木などが複合していること。これをキーワードにひたすら打っていった。

早々にミスがあったものの、この釣りが正解であることを確信。「自分に狙える魚がいる」ことを自信に変え、4バイト3フィッシュ。「勝負は10時を過ぎてから」という読みのもと、驚異的な集中力でリミットメイクを果たし、2580gでクラシックを制した。

長野県在住の伊藤はトーナメントのたびに、片道350kmを走ってくる。BMC以外のトーナメントにも参戦しており、3月からほぼ毎週、霞ヶ浦行脚を続けてきた。仕事のこと、家族のこと、そして支えてくれるスポンサーのこと。表彰台の頂点でこれらすべてが頭の中に去来し、思わず涙を見せた伊藤。「涙を流してよこべるほど、本気になれる遊びがある」。それこそが BMCの真髄であることを、改めて教えてくれた勝利だった。

2位は年間3位で出場権を得た矢口悟司。プラの好感触が崩壊したものの固執せず、フェイバリットのスイムジグに切り替えて伊藤を猛追。しかし、あと一步、及ばなかった。

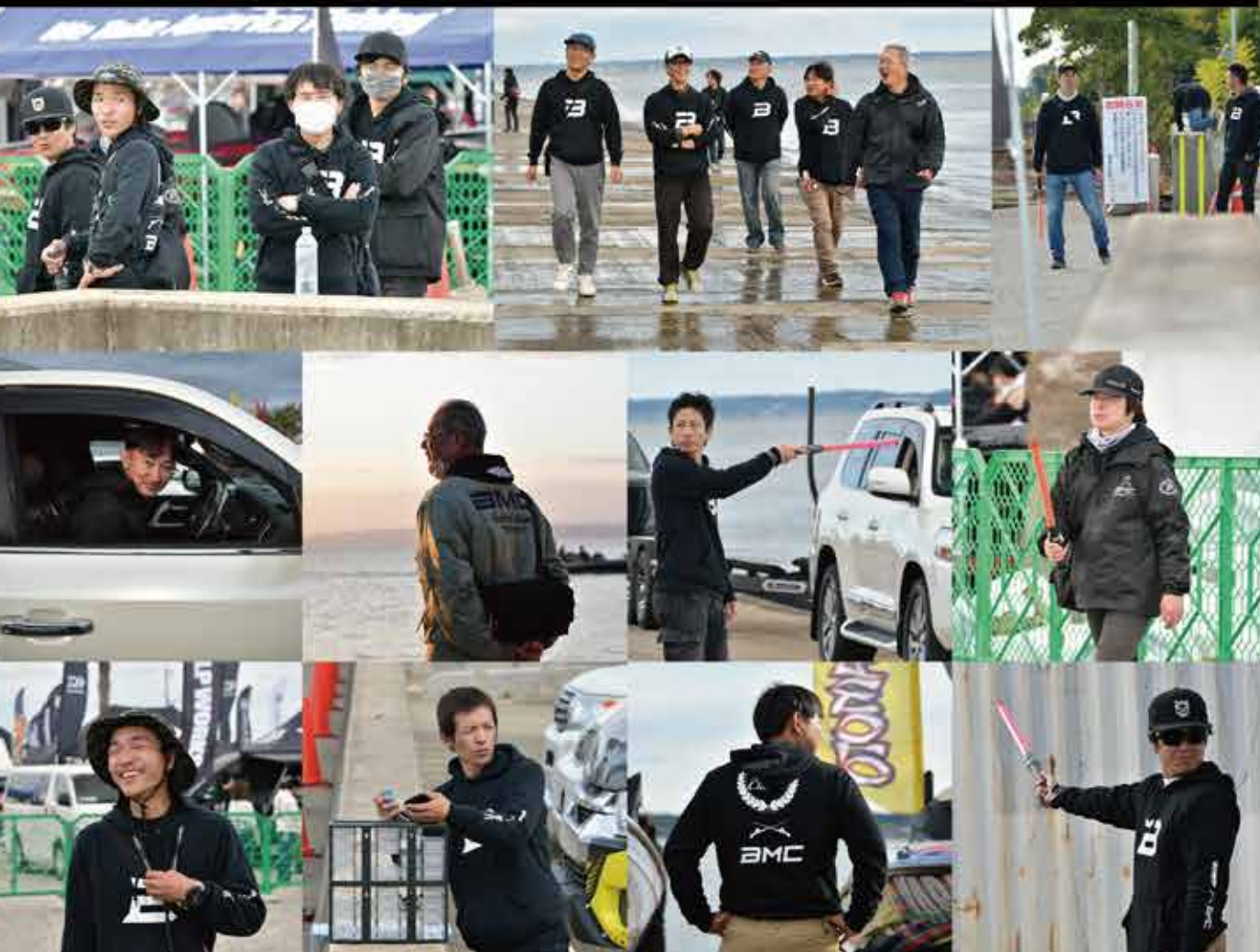
# Basser

Monthly Bassfishing Magazine

## Allstar Classic

BMC は Basser Allstar Classic の運営を担当しています。  
毎回、オールスターアングラーから高い評価をいただいております、  
それは私たちの誇りであり自信につながっています。

This is our proud.







# Special Thanks

Monthly Resurfacing Magazine  
**Basser**



**DESIGNC**  
Beyond imagination



**GREEN FARM**





**ism**  
INFINITE SEEDS MAKERS

**FALCON**  
PUNGER  
リアルコング

フロント&サイドに設けたカッタがペンシルベイト史上  
最強クラスのピール力を生み出し、ジャンル最高の  
水押しとスプラッシュでサーフエリアを支配。  
タンダステンとスチールの複合サウンドでターゲットを魅了。  
パッチカ最強ペンシルベイト フォルコパッチ！！

トップウオーターフラグ  
サイズ:120mm  
ウエイト:≒28g  
フック:BKK Fangs62-UA #2

<https://www.facebook.com/infiniteseedsmakers/>  
<https://www.instagram.com/infiniteseedsmakers/>  
<https://twitter.com/ismakers>

**INFINITE SEEDS MAKERS Inc.**  
<http://www.i-s-makers.com/>

# BASS PRO SUPPORT



バスフィッシング専用会場

霞ヶ浦トーナメントプレイス

☎ 029-869-9810

**Ranger**  
BOATS

**Triton**  
BOATS  
We Take America Fishing



**FUSION**

琵琶湖本店 滋賀県大津市小野 306

☎ 077-594-1377

霞ヶ浦支店

☎ 029-869-7982



稲フォルニア

☎ 029-886-9636

# BASS PRO SUPPORT

茨城県稲敷郡美浦村大山 2873-1

☎ 029-869-9810

✉ [info@basspro-support.jp](mailto:info@basspro-support.jp)

<https://basspro-support.jp/>

X - @BpsStaff

Instagram - bass\_pro\_support

TikTok - bps\_staff

YouTube - @bassprosupport

HP | SNS QR コード

